

●社会・政治 ご担当者さま

読売新聞 他今後も紹介多数

[重版決定 12月22日 出来]

民主主義の壊れ方 クーデタ・大惨事・テクノロジー

デイヴィッド・ランシマン 著
若林茂樹 訳

もし、いまの危機と似ている時代があるとするなら、それは 1890年代だ。貧富の差が拡大、ドレフュス事件はじめ陰謀論が跋扈し、ポピュリズムが生まれたあの時代である。このときは革新主義と世界大戦で危機を乗り越えたが、現在その選択肢はない。本書では、クーデタ・大惨事・テクノロジーという観点から民主主義の崩壊をシミュレートする。そこにトランプはいない。中国の権威主義体制も民主主義を覆すには至らない。では何が脅威なのか？



地味ながら過激で刺激的な問題提起 [開沼博氏、サンデー毎日 12/13号]

西洋型民主主義が危ういらしいが、それはすぐに消えるわけでもないようだ。筆者はその現状を「中年」と表現する。人も企業も国も地球も、いずれ必ず死ぬ。民主主義だってそのはずで、その兆候が徐々に感じられはじめたのが現在だと。

貴店印	希望数	ISBN978-4-560-	書名	本体価格
		09792-2	民主主義の壊れ方 [ポップ謹呈]	2,400円

[返品条件付注文扱]

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811
FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)

このフリーダイヤルでは御注文をお受けできません	共有書店マスタ・FAXサービスセンター・停止受付専用ダイヤル FAX: 0120-106394 (24時間受付) 自動音声案内: 0120-147456 (24時間受付)	貴店名: FAX: 芳名: 電話:
		18448192330